

1.世界に誇れる自慢の都市

夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成

- 概要
MICE機能や国際的なエンターテインメント機能を備えた統合型リゾート（IR）の誘致など、民間の創意・工夫や意見を取り入れながら、国際観光拠点の形成を推進
- アウトカム
・夢洲でのIRを含む国際観光拠点形成
- 実績
・夢洲まちづくり構想検討会ワーキングを4回、検討会を2回開催。IR推進会議第1回を開催。
- 期末評価
・夢洲まちづくり構想検討会において、2017年2月に「夢洲まちづくり構想（案）」のとりまとめを行うなど、着実に取り組んだ。



夢洲

水と光のまちづくりの推進

- 概要
・舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備及び水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備（水辺の魅力空間づくり）
・舟運の共同運航体制の構築や係留環境の充実などによる旅行者ニーズに対応した観光メニューとしてのクルーズ商品の多様化促進（環境活性化）
・オリバライアーに水辺を舞台にしたシンポルイベントを開催し、水都大阪の魅力を国内外へ発信、ブランディングと集客力を強化（シンポルイベントの実施）
・水の回廊ならではのランドマークやコンテンツを創出し、回廊全体の集客力アップや、クルーズをはじめとした観光メニューにおける新たな付加価値による魅力の向上（水辺のランドマークの創出）
・淀川舟運の活性化に向けた沿川地域の魅力づくり（淀川の魅力推進）
- アウトカム
・「水と光の首都・大阪」の実現（水辺の魅力空間づくり、舟運活性化、シンポルイベントの実施、水辺のランドマーク創出）
・「広域連携型都市構造」への転換に向け、フォーラムで淀川周辺まちづくり団体の相互認識が深まり、舟運実験により具体的な民間主導の事業化への機運が高まった。（淀川の魅力推進）
- 実績
・舟運利用者数：86万人（水辺の魅力空間づくり、舟運活性化、シンポルイベントの実施、水辺のランドマークの創出）
・社会実験2回 フォーラムの開催1回（淀川の魅力推進）
- 期末評価
・北浜・中之島東部エリアの賑わい空間づくりについて、測量と設計が完了した。当初の目標をほぼ達成することができた。（水辺の魅力空間づくり）
・水都大阪パートナーズとの協働による水辺拠点でのにぎわいづくりや、舟運活性化に向けたイベントを実施し、水都大阪の魅力と認知度向上に努めた。（舟運活性化）
・「水都大阪フェス2016」の開催を通じて、効果的なイベントのあり方について、関係者の共通認識を深め、シンポルイベントについてオール大阪での機運醸成を図った。（シンポルイベントの実施）
・水都事業（舟運活性化、イベント開催など）の実施を通じて、水の回廊ならではのランドマークやコンテンツ創出について、関係者の共通認識を深めた。（水辺のランドマークの創出）
・多様な地域資源を最大限に活用し、魅力ある都市空間をつつていくため、2017年1月22日に北大阪まちづくりフォーラムを開催し、2月、3月に枚方宿、守口宿で淀川を活かしたまちづくりに向けた社会実験等を実施した。（淀川の魅力推進）

万博記念公園の魅力創出

- 概要
・「太陽の塔」の耐震化、塔内のオブジェ「生命の樹」の再生及び地下展示室の増設（「地底の太陽」再生）等により、新たな魅力づくりを実施
- アウトカム
・公園の魅力・観光価値を高め、来訪者が増加。
- 実績
・平成28年度 自然文化園入園者数：約220万人
- 期末評価
・「太陽の塔」耐震工事及び内部公開に向けた取組みについては、順調に進捗。2018年3月の一般公開に向けた取組みを引き続き進める。



百舌鳥・古市古墳群の魅力創出

- 概要
・2010年に世界遺産暫定一覧表に記載された「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の早期実現に向けた取組みを推進
- アウトカム
・2018年度の世界文化遺産登録
- 実績
・テレビ番組制作・イベント及び登録応援大使の任命等機運醸成を図るとともに、東京都内では初めてのシンポジウムの開催をした。また、2017年3月末には文化庁へ推薦書原案を提出した。
- 期末評価
・2016年度において目標を達成することができなかったが、様々な取組みにより機運醸成を図った。また、2017年3月末には文化庁へ推薦書原案を提出し、現在、国内推薦に向けて取組みを進めている。



大阪城・森之宮・大手前地区の魅力向上

- 概要
・2015年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出
・豊臣期に築かれた初代大阪城の石垣を掘り起こし、公開する施設を整備
・特別史跡大阪城跡保存管理計画を推進し、文化財を整備・活用
・難波宮跡公園のハード・ソフト両面からの魅力向上 等
- アウトカム
・大阪城公園の魅力向上、まちの魅力向上
- 実績
・各施設の利用者（件）数：天守閣255万人、野球場977件、西の丸庭園26.5万人、豊松庵57件、音楽堂97件
・満足度調査：86%
・豊臣石垣公開施設の見直しを実施
・難波宮跡公園の整備検討に向けたマーケットサウンディングを実施
- 期末評価
・既存改修事業、新規施設整備とともに、おおむね計画どおり事業進捗している。
・利用者（件）数、満足度ともに、成果指標をおおむね達成した。
・豊臣石垣公開施設予定地の発掘調査の結果を踏まえ、公開施設及び展示設計の見直しを予定しており行った。
・特別史跡大阪城跡保存管理計画の推進に関しては来年度からの整備基本計画の策定に向けての準備・検討を行った。
・文化庁に対し、『「大坂夏の陣」に語り継がれる現代大阪」として日本遺産に関する申請を行った。
・難波宮跡公園の整備検討に向けたマーケットサウンディングの結果を踏まえながら今後の民活導入に向けた課題等の整理を進めている。
・史跡難波宮跡の保存と今後の活用方針を定めた「史跡等保存活用計画」を作成する必要がある。



大阪城



豊臣石垣公開イメージ

天王寺・阿倍野地区の魅力向上

- 概要
・天王寺公園・動物園を核として、周辺観光施設等と連携しながら、地区全体の魅力発信・集客を促進
- ・天王寺・阿倍野地区において、地区の核となる天王寺公園・動物園の官民連携等による魅力向上・活性化、ひいては天王寺・阿倍野地区全体の集客力・ブランド力を向上
- アウトカム
天王寺・阿倍野地区の魅力向上
- 実績
・エントランスエリア等来園者数：2016年度380万人、動物園来園者数：2016年度167万人
・ビッグデータ（位置情報等の）活用にかかる情報収集・地区内施設のニーズ把握の手法の検討
- 期末評価
・民間活力を導入した天王寺公園エントランスエリア（てんしば）において、賑わい創出の取組みを進めた結果、2015年10月のオープンから1年間で約420万人が来園するなど、大きな成果を上げた。
・天王寺動物園101計画を着実に推進していくために行動計画を策定し、改善の取組みを進めた。
・新たに天王寺動物園ゲートエリアの官民連携事業に取り組んだ。
・天王寺・阿倍野地区の魅力向上に向けて、観光ビッグデータを活用した分析を検討してきたが、同データの活用方法や地区内の観光施設のニーズ等を把握したうえで、今後の進め方について再検討が必要。

築港・ベイエリア地区の魅力向上 > クルーズ客船の母港化

- 概要
・クルーズ客船の母港化により内外集客力を強化
・新たなウォーターフロントのまちづくりに挑戦し、集客観光拠点化を図り、世界にアピール
- アウトカム
観光客増につながる大阪港への寄港回数の増加
- 実績
2016年寄港実績：28隻（2015年：21隻）
- 期末評価
・クルーズ客船の寄港実績が増加しており、引き続き客船誘致活動を継続していく。
・客船の大型化に対応した岸壁整備が完了した。
・天保山客船ターミナル整備については、2016年度に特定事業の選定を行っており、今後、PFI手続きにおける民間事業者の公募手続を進める。



天保山岸壁に入港する客船

大阪駅周辺地区の魅力向上

- 概要
・世界の人々を惹きつける魅力を備えた「みどり」と、世界をリードする「イノベーション」の融合拠点形成に向けた取組みとして、「うめきた2期まちづくり」を推進
- アウトカム
うめきた地区の魅力向上、にぎわい創出 ・うめきた2期まちづくりの機運醸成
- 実績
・うめきた2期区域のまちづくり実現に向け、大阪駅周辺地域部会を2回開催（4月、1月）
・民間開発事業者募集の前提となる地区計画等の都市計画を決定。
・暫定利用事業として9事業を実施し、約21万人が参加・来場。
・多くの方々の賛同と支援を頂きながらうめきたのまちにふさわしい「みどり」づくりを進めるため、新たに寄附の受入を開始
・基盤整備について、新駅設置事業及び東海道線支線地下化事業において全工区で工事に本格着手。
- 期末評価
・大阪駅周辺地域部会の開催のほか、暫定利用事業やプロモーション活動等を通じて、うめきた地区の賑わい創出や2期まちづくりの機運醸成を図ることができた。また基盤整備についても、地区計画等の都市計画を決定するとともに、関係者等との調整を行い、円滑な事業進捗が図られている。

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出

- 概要
・国内外に発信できる集客装置である御堂筋を活用して、非日常的なオンリーワンコンテンツを通じて大阪の魅力を内外へ発信し、多くの方に大阪に来ていただくための起爆剤となるイベントを開催
- アウトカム
大阪駅を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信する。
- 実績
・2016年度実績 報道等掲出回数：78回、来場者の満足度：65.0%
- 期末評価
・御堂筋ならではの質の高いエンターテインメントとして、海外で活躍するアーティストによるファッションショーやメタリストによるスポーツコンテンツ等からなる「御堂筋ランウェイ」（11月）を開催した。報道等掲出回数は昨年度を大きく上回る結果を得られた。



大阪・光の饗宴の魅力向上

- 概要
「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラム、地域の活性化に取り組む団体等が大阪府内各エリアで展開する光のプログラムをエリアプログラムとして、一体的にプロモーションを展開
- アウトカム
誘客促進
- 実績
・大阪・光の饗宴全体の来場者数：1,293万人
・連携実施する民間等の団体数：16団体
- 期末評価
地域の活性化に取り組む団体等が実施するエリアプログラムとプロモーション連携を実施することにより、来場者数、経済波及効果ともに前年度を上回る結果が得られた。



1.世界に誇れる自慢の都市（続き）

なんば駅周辺道路空間再整備

- **概要**
 - ・なんば駅周辺の道路空間を、車中心の空間から人中心の空間へと再編し、地元組織等のエリアマネジメント活動により、世界を惹きつける観光拠点として上質で居心地の良い空間を創出
- **アウトカム**
 - ・大阪のおもてなし玄関口として、世界をひきつける観光拠点を整備し、居心地の良い空間を生み出すとともに回遊性を向上
- **実績**
 - ・社会実験（3日間）を実施し、交通影響の把握及び賑わいの創出にかかる検証は次のとおり。
 - ・来場者数は8.7万人。来場者アンケートで広場化について日本人90.2%、外国人89.1%が「とても良い・良い」と回答。周辺交差点の交差点需要率および流入部混雑度は評価基準値以下
 - **期末評価**
 - ・社会実験の実施により、なんば駅周辺道路空間の広場化に伴う周辺への交通影響がなかったこと、にぎわいの創出が図れることが確認できた。



2.安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市

宿泊施設における「おもてなし」環境の整備事業

- **概要**
 - ・市内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化、Wi-Fi等のIT環境の整備やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組みを支援する事業を検討
- **アウトカム**
 - ・宿泊客の利便性や満足度の向上
- **実績**
 - ・宿泊施設の受入拡充を支援する事業を2017年度より実施
- **期末評価**
 - ・市内の宿泊施設を対象に、施設内の案内表示等の多言語化やトイレの洋式化など、宿泊客の利便性や満足度の向上に繋がる取組みに対し支援を行うとともに、特区民泊施設については、認定促進につながるよう、消防設備の整備等を支援する事業を2017年度より実施することとなった。



「トラベルサービスセンター大阪」の運営

- **概要**
 - ・来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応するなど、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」をJR大阪駅構内に設置
- **アウトカム**
 - ・観光客の利便性や満足度の向上、府内各地への誘客
- **実績**
 - ・「トラベルサービスセンター大阪（愛称：おもてなしステーション）」をJR大阪駅構内に2017年3月に開設
- **期末評価**
 - ・当初予定どおり、2017年度内に同センターを開業し、運営を開始した。



観光案内板等の整備促進

- **概要**
 - ・市町村が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する事業を検討。
- **アウトカム**
 - ・まちの魅力向上
- **実績**
 - ・市町村への補助金を交付する事業を平成29年度より実施
- **期末評価**
 - ・市町村が実施する多言語による観光案内板の設置・改修に係る経費について補助金を交付する事業を検討し、2017年度より実施することとなった。



外国人旅行者の災害時における安全確保

- **概要**
 - ・外国人旅行者が災害発生時に必要な情報入手できる環境の整備及び行政、観光施設・宿泊施設等、関係者の役割分担によるサポート体制の構築
- **アウトカム**
 - ・災害情報を入手しやすい仕組みづくりとともに、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす
- **実績**
 - ・「府内観光関連事業者向け 災害時における外国人旅行者 支援フロー（案）」を策定
- **期末評価**
 - ・ポータルサイトに府内の訪日外国人受入医療機関の検索HPのリンクを追加するなど内容の充実を図るとともに、その周知を図るため、広報カードを増刷した。
 - ・地域の意見を反映した支援体制を構築するため、大阪市と堺市の2地域の自治体・宿泊施設・観光施設が参画するワークショップを開催し、支援フロー（案）をとりまとめた。
 - ・引き続き外国人旅行者の災害時における安全確保のための取組みを進める。

3.多様な人材が集う観光・MICE都市

MICE誘致の推進

- **概要**
 - ・官民が一体となって、ターゲット等を明確にした方針に基づき戦略的MICE誘致を展開するとともに大阪におけるMICE受入体制を充実
- **アウトカム**
 - ・誘客促進
- **実績**
 - ・「大阪におけるMICE推進方針」の策定
- **期末評価**
 - ・同方針において、計画どおり官民一体となった行うMICE推進体制の構築や誘致活動の方向性を定めるとともに、大阪のMICE拠点の役割分担・機能強化の方向性を定めた。



大阪観光局運営事業（大阪版DMO推進事業）

- **概要**
 - ・大阪観光局において、観光のプロ組織による観光振興事業を展開し、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、交流を通じたにぎわいづくりに取り組むとともに、新たに大阪観光局を「大阪版DMO」とし、戦略的なマーケティング、情報ネットワークや観光案内機能のワンストップ化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、大阪への来訪者・宿泊者数を増加させ経済効果を向上
- **アウトカム**
 - ・誘客促進
- **実績**
 - ・大阪版DMO戦略を策定
- **期末評価**
 - ・2016年4月、大阪観光局を「日本版DMO候補法人」に登録するとともに、国の地方創生推進交付金を活用して「大阪版DMO」事業を開始し、大阪観光局において、マーケティングや観光プロモーションを戦略的に実施していくために必要となる機能強化を図り、マーケティングリサーチに基づく大阪版DMO戦略の策定や24時間多言語コールセンターの設置等の取組みを通じて、計画的な観光客の誘致を図った。

4.多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市

ストーリー性をもたせた大阪魅力の再編集・発信

- **概要**
 - ・大阪の魅力スポットやそれらを巡るルートにストーリー性を持たせて再編集し、地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等を支援する事業を実施する。
- **アウトカム**
 - ・国内外からの集客・周遊性の向上をめざした環境整備
- **実績**
 - ・市町村とも協議しながら、事業スキームについて検討を行った。
- **期末評価**
 - ・2016年度の検討状況を踏まえ、2017年度の事業実施に向け、引き続き市町村と協議し、詳細を検討する。



国内外への戦略的なプロモーションの展開

- **概要**
 - ・大阪観光局において、マーケティングに基づき、観光客や市場ごとのターゲットに応じた効果的なプロモーション活動を展開し、国内外からの誘客を促進
- **アウトカム**
 - ・誘客促進
- **実績**
 - ・来阪外国人旅行者数：941万人（2016年、速報値）
- **期末評価**
 - ・海外プロモーションについては、従来実施してきたアジア地域に加え、欧米・豪州・東南アジア・インド等に対するプロモーションを展開するとともに、現在の来阪状況や市場成長性を基に、「DMO」戦略において、ターゲット国の優先度を整理した。
 - ・国内プロモーションについては、鉄道・航空会社と連携し、女性やシニア層などのターゲットを絞ったプロモーションを展開した。
 - ・プロモーションに従事する人材を新たに確保するとともに、SNS等のデジタルマーケティングの取組みを開始するなどの機能強化を図った。

5.大阪が誇る文化力を活用した都市

世界に発信する「大阪文化の祭典」

- **概要**
 - ・人々を惹きつける質の高い、様々なコンテンツを、大阪はもちろんのこと府外からも集め、府内全域で特定期間に集中して見せることで、大阪のエンターテインメント性を際立たせ、多くの観光客を呼び込み、大阪の魅力を発信していくことにより、国際エンターテインメント都市にふさわしい、世界に誇る文化イベントを目指す。
- **アウトカム**
 - ・大阪の魅力を発信、誘客促進
- **実績**
 - ・他府県の事例等を調査検討し、2017年度から「大阪文化フェスティバル」を開催する。
- **期末評価**
 - ・「第4次大阪府文化振興計画」（2016年11月策定）においても位置づけるとともに、2017年度から「大阪文化フェスティバル」として、事業の実施につなげた。

アートの魅力創出・発信

- **概要**
 - ・公共の空間や施設内において、都市魅力を向上させ、観光集客につながるようなアート作品を設置することにより、大阪に新たな名所（アートのスポット）の創出を目指す。
- **アウトカム**
 - ・大阪の魅力を発信、誘客促進
- **実績**
 - ・2018年度からの事業実施を目指し、引き続き調査検討を行う。
- **期末評価**
 - ・「第4次大阪府文化振興計画」（2016年11月策定）においても位置づけるとともに、2018年度からの事業実施を目指し、さらに詳細な調査検討を行う。

新しい美術館の整備

- **概要**
 - ・大阪市が所蔵する第一級のコレクションを活用して、市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる「（仮称）大阪新美術館」を、2021（平成33）年度の開館をめざして整備
- ・「（仮称）大阪新美術館」の整備に取り組むことにより、中之島地区の魅力向上に貢献
- **アウトカム**
 - ・中之島地区の魅力向上に貢献し、来訪者が増加
- **期末評価**
 - ・公開で実施した公募型設計競技のプレゼンテーションは、多数の傍聴者がありマスコミ等にも取り上げられた。設計事業者の選定だけでなく、整備の情報発信にもつながることができた。



（仮称）大阪新美術館
公募型設計競技 最優秀案

5.大阪が誇る文化力を活用した都市（続き）

アーツカウンシルの機能強化

- **概要**
 - 大阪の文化力の向上につなげるため、アーツカウンシルの運営体制強化を図り、府市文化事業を評価・審査するとともに、企画や調査機能を高め、アーティスト等へのサポート、府内での文化プログラムの推進と効果検証等に取り組む。
- **アウトカム**
 - 大阪文化にふさわしい文化施策の推進
- **実績**
 - 大阪府立江之子島文化芸術創造センター内において活動拠点を確保
- **期末評価**
 - 「第4次大阪府文化振興計画」（2016年11月）及び「第2次大阪市文化振興計画」（2016年10月）を策定し、大阪アーツカウンシルの運営体制の強化を位置づけるとともに、大阪府立江之子島芸術創造センター内に拠点を確保した。



6.あらゆる人々が文化を享受できる都市

芸術文化を将来へ継承させる青少年の育成

- **概要**
 - 大阪市における各区の特性に応じた質の高い芸術文化メニューを青少年対象に実施することを通じて、中長期的に芸術文化にかかる青少年育成が定着することをめざす。
- **アウトカム**
 - 芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成
- **実績**
 - 事業スキームの検討を実施
- **期末評価**
 - 事業スキームの検討により、2017年度予算として事業化したため、概ね計画どおり進捗した。

7.アジアをリードする国際・プロスポーツ都市

ラグビーワールドカップ2019の大阪開催

- **概要**
 - ラグビーワールドカップ2019大会準備推進組織を設置し、大会運営に係る関係機関との協議・調整や大会に向けた機運醸成を図るための取組みを展開
- **アウトカム**
 - 2019年9月のラグビーワールドカップに向けた開催機運の醸成を図る
- **実績**
 - ラグビーワールドカップ2019広報・普及啓発イベント等の参加者数：約21,700人
 - ラグビーワールドカップの花園ラグビー場開催に対する府民認知度：45.9%
- **期末評価**
 - ラグビーワールドカップ2019広報・普及啓発事業については、キックオフイベント等の実施により、メディアへの露出を図るとともにイベント等参加者数2万人以上の目標を達成したが、大会開催に対する府民認知度については目標を達成することができなかった。引き続き、大会開催機運の醸成及び認知度向上に向けた取組みを進める。



国際的なスポーツイベントなどの誘致

- **概要**
 - 大阪のスポーツ都市としてのブランド力を高めるため、注目度の高い国際的なスポーツイベントや合宿を誘致
- **アウトカム**
 - 大阪のスポーツ都市としてのブランド力の向上
- **実績**
 - 合宿地の具体的な問い合わせ競技数：3競技<府>
 - 国際競技大会・イベント等の誘致・開催：3件<市>
- **期末評価**
 - 合宿誘致/インフレットを競技団体や在関西総領事館に配付し、施設等の問い合わせ段階に止まっている。今後、各種競技団体も含めて、プロモーションツールを活用して大阪の魅力をPRしていく。<府>
 - 国際競技大会を招致・開催し、継承発展させていくことが、国際スポーツ都市を世界にアピールするために重要であるため、引き続き国際競技大会を実施していく。<市>



オリ・パラ等事前キャンプ誘致の推進

- **概要**
 - 市町村と連携した事前キャンプの誘致やホストタウン登録を推進するため、競技施設等の情報を掲載した広報媒体を作成するとともに、府内競技団体や総領事館等へプロモーションを実施
- **アウトカム**
 - 事前キャンプ誘致、「ホストタウン」登録の実現
- **実績**
 - キャンプ地の具体的な問い合わせ競技数：3競技<府>
 - 事前キャンプ候補地として、施設PR等のプロモーション活動を実施<市>
- **期末評価**
 - 事前キャンプについて、具体的な問い合わせがあったが、誘致には至らなかった。引き続き、大阪府は、誘致主体である市町村を支援する。大阪府は、キャンプ地の決定に向け、プロモーション活動に取り組む。
 - 「ホストタウン」第三次登録で大阪市（オーストラリア）、泉佐野市（ウガンダ）が登録済となった。継続審査中の箕面市、泉佐野市を含め、申請意向のある市町村を引き続き支援する。

ホストタウンへの登録

- **概要**
 - 大阪府において、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域のホストタウンとして国に登録し相互交流を実施
- **アウトカム**
 - スポーツによる地域活性化
- **実績**
 - オーストラリアのホストタウンとして登録
- **期末評価**
 - オーストラリアとの交流計画を策定し、国に申請を行いホストタウン登録を行った。
 - 当該交流計画に基づき、事業展開するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を醸成し、都市魅力の向上に取り組む。

大阪マラソンの魅力向上

- **概要**
 - 世界トップレベルの市民マラソンを目指すためのさらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進
- **アウトカム**
 - 大阪マラソンの魅力向上を図り、海外ランナーのエントリー数を増加
- **実績**
 - 海外ランナーエントリー数：10,332人
- **期末評価**
 - 大阪マラソン公式ホームページで多言語のホームページの作成や、SNSやメルマガを英語で発信するなど海外ランナーの誘客増加につながる取組みを行った。その結果、海外ランナーのエントリー数は前年度より2,854人増加した。引き続き、大阪マラソンの魅力にかかる情報発信強化に取り組んでいく。



スポーツツーリズムの推進

- **概要**
 - ランドマークなど大阪のブランド力を活用したスポーツイベントを誘致・開催
 - また、プロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につながる取組みを推進
- **アウトカム**
 - 観光集客を通じて地域を活性化す<府・市>
 - スポーツを活かした都市魅力創出、誘客促進<市>
- **実績**
 - 大阪にゆかりのあるプロスポーツ7チームの年間主催試合での観客者合計数：290万6,534人
- **期末評価**
 - 観客者合計数について、目標数値を達成した。今後、旅行者のニーズを踏まえた魅力ある旅行商品の企画・開発に努めるとともに、大阪観光局と連携してプロモーションを強化する。<府>
 - 国際競技大会を招致・開催し、継承発展させていくことが、国際スポーツ都市を世界にアピールするために重要であるため、引き続き国際競技大会を実施していくと共に、2016年9月に公表した舞洲プロジェクトを2017年4月から円滑に行えるよう準備を行う。<市>

プロスポーツとの連携事業

- **概要**
 - 大阪を拠点に活動するプロスポーツチームと連携して、スポーツの振興や産業創出に向け取り組むとともに、都市魅力の発信、観光振興につなげる。
- **アウトカム**
 - プロスポーツ観戦を目的とした観光客の誘客促進<府・市>
 - プロスポーツチームとの連携によるスポーツ振興及び都市魅力向上<市>
- **実績**
 - 大阪にゆかりのあるプロスポーツ7チームの年間主催試合での観客者合計数：290万6,534人
 - プロスポーツチームとの連携事業スキームの確立<市>
- **期末評価**
 - 観客者合計数について、目標数値を達成した。引き続き、関係チームの協力を得ながら、より魅力ある連携事業を企画する。<府>
 - 2016年9月にプロスポーツチームとの連携による実施方法（舞洲プロジェクト）の公表を行い連携事業スキームの確立を行うことができた。今後は舞洲プロジェクトを2017年4月から円滑に行えるよう準備を行う。<市>



オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進

- **概要**
 - オリンピックやパラリンピアンなどのトップアスリートを学校に派遣し、オリ・パラ等の開催に向けた機運醸成やスポーツマンシップの普及
- **アウトカム**
 - オリンピック・パラリンピックムーブメント教育の推進を通じた機運醸成<府・市>
- **実績**
 - 平成29年度に向けた派遣講師、派遣先小学校の選定等の準備・調整を行った<府>
 - 「夢・授業」を活用したオリパラ教育の実施案を作成<市>
- **期末評価**
 - 事業スキームを検討し、平成29年度に向け派遣講師、派遣先小学校の選定等の準備・調整を図ることができた<府>
 - 「夢・授業」講師であるオリンピック・パラリンピアン等の参画を得て、オリパラ教育の内容を取り入れた「夢・授業」実施案の検討等を行い、平成29年度から実施予定である<市>

8.健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市

関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた事業の展開

- **概要**
 - 大規模なスポーツ大会の開催時に合わせて、一般参加型のスポーツイベント開催により、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」開催の機運を醸成
- **アウトカム**
 - ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴う機運醸成を図る
- **実績**
 - 2016年10月の組織委員会第2回総会において、大阪府での閉会式実施が決定
- **期末評価**
 - 目標通りに、2016年10月の組織委員会第2回総会において、大阪府での閉会式実施が決定した。翌年度に向けて、閉会式の実施に向けた関係機関と調整し、会場の選定などの準備を着実に進めていく必要がある。



9.世界で活躍できるグローバル人材育成都市

英語イノベーション事業

- **概要**
 - ・大阪市立小中学校において、英語教育の強化を図ることにより、自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成
- **アウトカム**
 - ・英語でのコミュニケーション能力育成
 - ・グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成
- **実績**
 - ・中学校卒業段階で英検 3 級程度以上の英語力を有する生徒の割合：38.9%（2016年度）
- **期末評価**
 - ・外部判定試験による英語力調査（2016年11月上旬実施）の結果、中学校卒業段階での英語力は目標値を上回った。しかし、ネイティブ・スピーカーを活用した授業は目標の年平均17時間以上に届かず、各校への指導とともに活用時間数の再検討やネイティブ・スピーカーの増員配置について検討する必要がある。

公設民営学校（国際バカロレア等）の設置

- **概要**
 - ・国家戦略特区を活用した公設民営学校として、国際バカロレア認定コースを持つ中高一貫教育校を設置
- **アウトカム**
 - ・国際社会でリーダーシップを発揮して活躍し、大阪の経済成長を牽引する人材の育成
- **実績**
 - ・4 法人から申請を受け付
- **期末評価**
 - ・学校の管理運営を行う指定管理法人の公募について、より多くの法人からの申請を受け付けられるように、公募要件の設定や市長会見による情報発信に努めた結果、4 つの法人からの申請を受け付けることができた。

留学生の住まい確保に向けた公的賃貸住宅事業者と大学連携事業

- **概要**
 - ・留学生受入を実施・予定している大学や大学コンソーシアムと、公的賃貸住宅事業者の間で、公的賃貸住宅をまとめて、賃貸借契約し、大学側が留学生に住宅を提供。これにより住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供が可能となる。
- **アウトカム**
 - ・住環境整備により来訪留学生の利便性の向上
- **実績**
 - ・公的賃貸住宅事業者に対して住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供に向けた事業スキームの検討について指導した。
- **期末評価**
 - ・公的賃貸住宅事業者に対して住居確保が困難な留学生に対して、安定した住環境の提供に向けた事業スキームの検討について指導した。次年度以降、モデル地区における事業開始に向け取り組みを行う。

外国人留学生との連携拡大及び起業支援

- **概要**
 - ・国際的な視点・能力をもつ留学生に、大阪市等が開発する協働プログラム（ボランティアプログラム）に参加してもらい、地域の国際化・活性化を図るとともに、留学生の地域への愛着を醸成
 - ・起業のきっかけとなるよう支援セミナーを開催し、国際人材の定着を促進
- **アウトカム**
 - ・地域の国際化、国際人材の定着
- **実績**
 - ・交流プログラム 開催数 3 件 参加者総数 70 名 参加者アンケート満足度 97.1%
 - ・協働プログラム 開催数 24 件 参加者アンケート満足度 94.1%
 - ・起業支援セミナー 開催数 2 件 参加者総数 35 名 参加者アンケート満足度 97%
- **期末評価**
 - ・各プログラム・セミナーの開催数・アンケート満足度については目標達成しているが、参加者数増加を図るため、周知の強化が必要。起業支援セミナー受講後のフォローアップの体制づくりが必要。



企業における高度外国人材の積極的受入・活用や留学生の就職支援

- **概要**
 - ・留学生が卒業後に大阪で就職し、高度外国人材として企業のグローバル化や競争力強化につながる活躍ができるよう、企業の積極的な受入促進や留学生の円滑な就職支援等を実施
- **アウトカム**
 - ・外国人高度専門人材の受入れ拡大
- **実績**
 - ・外国人高度専門人材の受入れ拡大に向け、事業スキームの検討を行った。
- **期末評価**
 - ・外国人高度専門人材の受入れ拡大に向け、早期に事業化を行うべく企業等と調整を行う。



10.出合いが新しい価値を生む多様性都市

グローバルイノベーション創出支援事業

- **概要**
 - ・うめきた先行開発区域の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」内に開設した「大阪イノベーションハブ」において、世界から人材・資金・情報を引き込み、人材発掘、起業家マインド醸成、国内外ネットワーク構築、プロジェクト創出支援、海外ワークジョブ、国際会議等のイノベーション創出を支援する事業を実施
- **アウトカム**
 - ・「大阪イノベーションハブ」を拠点として、世界に通用するイノベーションが次々に生まれる好循環（イノベーション・エコシステム）を作り出す。
- **実績**
 - ・ピッチイベント開催回数：52回
- **期末評価**
 - ・年間257本のプログラムを実施し、大企業や国等との連携を通じてプロジェクトを生み出したほか、海外とのグローバル規模でのネットワークを構築することができた。今後、各種プログラムを通じて創出したプロジェクトをさらに成長・進化させるとともに、イノベーションに取り組む人材の裾野を拡大していくほか、ネットワークを構築した海外の諸地域等と具体的な連携を図る。



ビジネスパートナー都市交流事業

- **概要**
 - ・大阪市がアジア太平洋地域の13の主要経済都市と締結しているビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動を支援
 - ・年1回、BPC各都市が一堂に集まるラウンドテーブルを開催し、同期間に併せて現地での商談会を実施するとともに、海外見本市への出展支援、海外企業との国内商談会、セミナーを実施
- **アウトカム**
 - ・BPC都市とのネットワーク強化、ビジネス交流促進
- **実績**
 - ・海外見本市 出展・商談会：支援対象企業数：23社、販売成約数：54件、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：94%、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：94%
 - ・国内商談会 大阪での商談会：3 回/大阪でのセミナー：2 回、大阪企業の参加数：41 社、支援企業のビジネスモチベーション高揚の割合：97.6%、支援企業の海外展開が企業経営に貢献した割合：95.2%
- **期末評価**
 - ・海外見本市出展・商談会の開催、国内商談会・セミナーの開催により、ビジネスパートナー都市（BPC）提携のネットワークを活用し、在阪中小企業に対する国際ビジネス活動を支援することができた。

外国企業誘致推進事業

- **概要**
 - ・大阪市・大阪府・大阪商工会議所で平成13年度に立ち上げた「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」事業により、オール大阪としての対外的なプロモーション活動や立地サポート及び外国経済団体等とのネットワークを活用するなど、大阪への外国企業等の誘致活動を実施
- **アウトカム**
 - ・大阪への外国企業等の誘致促進
- **実績**
 - ・誘致件数：38件
- **期末評価**
 - ・大阪外国企業誘致センター（O-BIC）において、JETRO等主催の対日投資セミナーへの参加、メルボルンでのライフサイエンス分野の展示会への出展、北京でのセミナー主催といったプロモーション活動を展開、2016年度の外国企業等の誘致件数は過去 2 番目に高い38件となった。

トップセールスによる戦略的プロモーション

- **概要**
 - ・海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、知事・市長等が、国内外向け大阪の魅力や強みを効果的に発信し、経済・観光等の分野における交流促進を図る。
- **アウトカム**
 - ・大阪への投資促進、大阪と海外企業交流の促進、市内各地に観光客を誘致
- **実績**
 - ・現地政府・大手企業等に大阪企業との商談促進の協力約束取り付け。商談機会提供数104件(府)
 - ・市長が8月米国、9月シンガポール共和国及びベトナム社会主義共和国を訪問し、副市長が10月オーストラリアを訪問し、関係団体と連携して経済、イノベーション、水・環境、観光について、トッププロモーションを実施。(市)
- **期末評価**
 - ・海外ネットワークの戦略的な活用、関係機関等との連携を通じ、外国政府機関・企業等に効果的に大阪の魅力や強みを発信した。今後、プロモーション活動やビジネス交流等の各種交流をより効果的なものとするために、国内外の関係機関・関係部局等との連携を強化していく。